

アピール

「学校図書館図書整備等5か年計画」は、教育現場における探究学習や全校一斉読書、ビブリオバトル、読み語り活動などの活性化を促し、子どもたちの多面的な活動を支えています。わけても小中学生の不読率の改善は、その象徴的な事例といえましょう。

他方、子どもを取り巻く環境の変化もあつて、高校生の不読率は依然として高い傾向にあり、引き続き、読書習慣の形成に向けて取り組まなければなりません。また、主体的で対話的な深い学びによる授業の実践には、最新資料や読み継がれる図書、新聞の充実が欠かせません。

学校図書館は、すべての教育課程の展開に寄与し、子どもの健全な教養を育て、豊かな人格形成に貢献するという責務を担っています。この責務の達成は、教育現場の努力だけでないうるものではなく、学校図書館や教育機関、民間諸団体その他の幅広い連携した行動が必要です。

国は、2022年度に始まる次期5か年計画において、さらなる図書の充実、新聞の複数配備、学校司書配置を促進されることを強く要望します。私たちは図書の新規購入・更新がはかどるよう、使いやすくして質の高い図書目録を作成し、その普及に努める決意です。

二〇二一年一〇月五日

学校図書館図書等の整備・拡充を求める各界連絡会